

鈴木智彦

「ヤクザときどきピアノ」
鈴木智彦（著）

『「ダンシングクイーン」が弾きたいんです』校了明けに観た1本の映画が人生を変えた。

『サカナとヤクザ』『ヤクザと原発』など
没入ルポで知られる
ライターがピアノ教室に！譜面の読み方

「ダンシング・クイーン」が弾きたいんです

譜面の読み方
知らない
52歳の挑戦

も知らない52歳の挑戦がはじまる。レッスンは冒険であり、レジスタンスだ。ピアノは人生に抗うための武器になる。俺は反逆する。残酷で理不尽な世の中を、楽しんで死ぬ。

5年もの時間をかけて書き上げた『サカナとヤクザ』（小学館）を校了した。「俺」には、やりたいことがあった。ピアノである。子どものころからピアノには淡い憧れがあったが、大人になり、ヤクザ取材を中心に行うライターとして多忙な日々を送るなかで、そんな機会が実現することはついぞなかった。しかし、人生はわからない。校了明けに観た映画『マンマ・ミア！ヒア・ウィー・ゴー』が運命を変えた。

ABBAのスマッシュヒットである『ダンシング・クイーン』が流れた時、涙腺が故障したのかと思うほど涙が溢れて止まらなくなった。特徴のあるピアノの旋律に直接感情の根元を揺さぶられた。身体が音楽に包まれていた。＊ピアノでこの曲を弾きたい＊

ピアノ教室に電話をかけまくった。簡単には行かない。50代の未経験者がいきなりABBAを弾きたいのは無謀なのか。そんな中で出会ったのがレイコ先生だった。彼女はきっぱりと言った。「練習すれば、弾けない曲などありません」



お月見

2025年は10月6日が十五夜

十五夜とは、1年で最も美しいとされている「中秋の名月」を鑑賞しながら収穫などに感謝する行事

お月見川柳

隠れても今宵飲みます月見酒 喜怒哀楽さん
「外見てよ」電話でしばし月見する 鏡餅子さん
外は雨目玉焼きして月見する すっぽんさん
毎年の恒例マックで月見食べ あきそるさん
月見する人たち見てる月ウサギ 又場羽さん
月見えずみたらし団子食べまくる うさ小雪さん
団子より月見バーガー今は食べ シャリベンさん

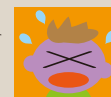
夏の大災害で市民は全員熱中症？
広域避難所にエアコンなし

私が朝日新聞に投稿（2025.7.30）した内容を口語風に紹介します。

参院選投票で真夏の日中に市立小学校の体育館に入りびっくり。この酷暑の中エアコン無し！立ち合い関係者は熱中症大丈夫？もし、今、南海トラフ地震が発生したら？小学校は指定避難場所なのに。選挙管理の方曰く「自宅が無事な方は自宅で避難を」と。えっ、無事な自宅は何%？倒壊を免れても自宅にいたら水や食料などが届く？



熱中症注意報



熱中症注意報



支援物資を取にマンション・アパートの住民は酷暑の中階段を上がり下り？停電したら自宅でも熱中症に。約40年前、小学校はエアコンなしが普通だった。しかし近年、エアコンなしでは体育授業や全校集会は暑い時期には無理。避難所にするのも無理。義務教育施設で、災害時避難場所へのエアコンと自家発電設備の設置は、危機管理事項として優先するべきでは。

更に言いたいのは、今大規模地震が起こったら大阪市民の何人が熱中症に？何%の人が死亡？万博なんかにお金を使っている場合でしょうか？

【長野・縞枯山<しばかれやま>、茶臼山】

山男・田窪 公さん(83歳)



7月27日、茅野駅13時30分発のバスで北八ヶ岳ロープウェイ乗り場に。山上駅から突然振り出した夕立の中、20分あるいて縞枯山荘に宿泊。翌朝6時に出発。数分で雨池峠。ここから1時間の急登。縞枯山山頂(2403m)に着くが眺望は全くなし。山上台地を40分ほど歩くと岩岩の展望所。蓼科、茅野方面の絶景が広がる。北海道から来たというご夫婦の後ろ姿を撮影(写真)。一度鞍部まで下り茶臼山(2384m)に登り返す。山頂からやや西へと辿ると素晴らしい展望台。辿ってきた縞枯山の縞枯現象がはっきり見える。八ヶ岳主峰の赤岳、横岳はガスの隙間。岩ゴロゴロの歩きにくい道を下り、11時前に麦草峠の麦草ヒュッテ前に到着。そこには20分後に出る茅野駅行きのバス(1日に3本しかない)の姿が。中腹のトレッキング道をロープウェイ山上駅に戻る予定をさっさと変更。茅野駅から帰阪。